

飯山市長 殿

要望・提案書

平成 27 年 7 月 13 日

広小路会議

代表 田中 隆太



広小路会議は平成 25 年 7 月より、広小路界限の活性化を目的として発足した任意団体です（構成メンバーは別紙の通り）。平成 26 年 4 月より美術家・田窪恭治氏、プランナー・塚本章二氏の参画をいただく中、広小路地区を「歴史とロマンを感じ芸術性あふれる街へと再生」することをテーマに現在まで活動してきました。広小路会議の目的をまとめると以下の通りになります。

■ 広小路会議の目的

- ① 飯山城下に位置する広小路地区を「歴史とロマンを感じ芸術性あふれる街へと再生する」
- ② ①に関わる意識統一、意見交換、広報活動、イベント等を行う
- ③ ①・②により、地域を活性化し広小路に訪れる人・商う人・住む人を増やす

広小路会議の行ってきたことをまとめると以下の通りとなります。

■ 広小路会議の行ってきたこと

- ① 夢を描く作業 → 田窪氏のスケッチ（10 枚ほど作成）に基づく意見交換
  - ・ 広小路地域を「歴史とロマンを感じ芸術性あふれる街へと再生する」ためにどのような街整備を行ったらよいか話し合ってきた
- ② 教会イベント（平成 26 年 11 月 8 日実施）
  - ・ ボランティアを集めメイプルの植樹
  - ・ ボランティアによる教会庭園の草取り・整備
  - ・ ボランティアによる仲町街灯一部塗り替え（各ボランティアには小学生・周辺住民・教会関係者等が多数参加）
  - ・ 教会での「街の再生」パネルディスカッション（田窪氏・市長・田中）

- ・教会のライトアップ
- ・モミの木のイルミネーション
- ・パティスリーヒラノ「メイプルケーキ」ふるまい
- ・カフェ・エルク「コーヒー・紅茶」ふるまい
- ・田中屋酒造店「水尾（日本酒）」ふるまい
- ・川口鶏肉店「オードブル」ふるまい

③ 教会イベントの発信

- ・カントリープレス KURA に 2 か月に渡り紹介された
- ・信濃毎日新聞・北信ローカル・北信濃新聞等へ掲載
- ・田窪氏による関係誌へのコメント掲載
- ・関スタジオ・関氏による写真撮影とカレンダー作成（畑宗が実施）

④ 教会の整備（教会が実施）

- ・牧師館の解体・撤去
- ・庭園の整備
- ・灯籠まつり 灯籠展示（文化学院主催）
- ・クリスマス・ゴスペルコンサート

⑤ 田窪氏によるリンゴの壁画（パティスリーヒラノが実施）

- ・3/1～3/14 壁画のライブ作成
- ・3/15 壁画完成イベント（教会イベントに準じてふるまい）
- ・メディアへの発信（田窪氏による）
  - NHK・めざましテレビ・信濃毎日新聞
  - 制作風景の写真撮影と店舗内展示（関スタジオが実施）

⑥ 田中屋酒造店 外観改修工事（田中屋酒造店が実施）

- ・店舗ビル 2F・3F・屋上部分の景観改修（7/6 工事開始～9/15 完成予定）
- ・田窪氏監修、塚本氏設計による

\* 詳細は別紙の通りとなります。

平成 25 年度、平成 26 年度は飯山市商工観光課のサポートと長野県の「地域の特色を活かした商店街創造支援事業」の補助を受け活動してきておりますが、活動を続ける中でテーマに賛同する広小路とその周辺地区の協力希望者は商店街の枠を超えてきており、今後

は一般住民を含めた周辺住民の賛同者すべてが参加するまちづくりへと発展させる段階にきていると感じております。

しかし、現在の広小路会議では財政的にも組織体力的にも、これ以上先への段階に進むには無理があり、ぜひ飯山市の主体的な関わりをここに要望するところであります。平成23年に「飯山まちづくりデザイン会議」で策定されました「歴史と自然に彩られたふるさと飯山まちづくり」のデザインイメージの中で、唯一未着手のエリアでもある広小路界隈のプランを官民一体となって進める良いチャンスとも思っております。

つきましては今後の広小路会議の発展を現実化し、広小路地域の開発を実現させるために、以下の要望と提案を提出いたします。

#### ■ 要望と提案

- ① 「歴史とロマンを感じ芸術性あふれる街へと再生する」をテーマとした「広小路整備3ヶ年計画」の策定
- ② 広小路会議の行ってきた民意形成を生かすため、プロデューサーとして「田窪恭治」氏をプランナーとして「塚本章二」氏を採用。<sup>\*1</sup>
- ③ 「広小路整備3ヶ年計画」を「幹プラン<sup>\*2</sup>」として位置づけ、「教会」・「官舎」・「足立医院」・「チャペルロード<sup>\*3</sup>」を整備（広小路会議で話し合ってきたプランの引継）
- ④ 広小路会議は計画策定の民間意見団体・協力団体として参画するとともに、個々の民間協力が必要な部分についての調整を行う

#### \*1 田窪氏・塚本氏の採用が必要な理由

現在、広小路会議の中で合意形成され活動してきた中心にあるアイデア提案とプランニングをいただいたのが両名です。広小路会議が民意として集まるための求心力となっており、両名なしで広小路会議として活動の存続は難しいと思っております。

\* 両氏のプロフィールについては別紙の通りとなります。

#### \*2 「幹プラン」と「枝・葉・花プラン」

官が主体となっていく大型ハード整備である「広小路整備3ヶ年計画」部分を「幹プラン」と、そこを中心として民が取り組む個人的ハード整備とソフト部分の展開を「枝・葉・

花プラン」と呼んでいます。「官」が大きな「幹」の木を植え、そこから自然発生的に「民」が「枝」を張り、「葉」をつけ、「花」を咲かせるというイメージです。

**\*3 「教会」・「官舎」・「足立医院」・「チャペルロード」**

官舎とは長野県の所有する教会裏の旧警察署長住宅のことです。現在隣接する県住宅の公共ホールのに使われています。県知事視察の際の会話の中でのニュアンスより、比較的廉価で県から購入できる可能性が高いと考えています。足立医院については持ち主が現在土地建物ともに譲渡を希望しています。チャペルロードとはパティスリーヒラノ横に位置する「はやしや（小林宅）」と「長野モータース（久保田宅）」の間を通す小道計画です（イチミチ通り～官舎～教会をつなぐ小道）。用地については個人宅であるので今後の交渉が必要となりますが、広小路会議メンバーによる話しかけは始めております。

今後の広小路会議の役割をまとめると以下の通りとなります。

■ 今後の広小路会議の役割

- ① 広小路にかかわる市民意識の向上・統一、それに関わる事業を行う  
→ 活性化イベント、ボランティア、ディスカッション等
- ② 各商店・市民がそれぞれの商店・住居において目的に沿ったハード・ソフト両面の活動を行う  
→ 3ヶ年計画の「幹プラン」に対し「枝・葉・花プラン<sup>\*2</sup>」となる
- ③ 市が行う「広小路整備3ヶ年計画」及び広小路周辺のまちづくり計画に対し整備提案・協力を行う

要望・提案書は以上です。

尚、この提案・要望書に関するご回答は平成27年7月31日までにいただきたく思っております。9月議会への何らかの形で反映をお願いしたく思っているからです。

h27 いいやま広小路会議 名簿

氏名	所属	郵便番号	住所
中澤 諭	サンフラーワー		
関 善夫	セキスタジオ		
田中 隆太	田中屋酒造店		
近藤 雅英	カフェ エルク		
畑山 まり子	飯山復活教会		
金子 謙一	飯山復活教会		
平野 信一	パティスリーヒラノ		
本多 政晴	本多うなぎ店		
小林 敦子	川口鶏肉店		
東 和敬	野田重商店(株)		
松林 和彦	(有)松林都市建築計画		
田 建 恭 治	美術家		
塚本 章二	都市空間デザイナー		
山口 美緒	いとぐち		
坪根 一幸	商工観光課		
井田 玲子	高橋まゆみ人形館		
村田 聡	まちづくり課		
荻原 達也	まちづくり課		
南 沢 忠	飯山商工会議所		
商工 観光 課			

△

△  
田 建 恭 治

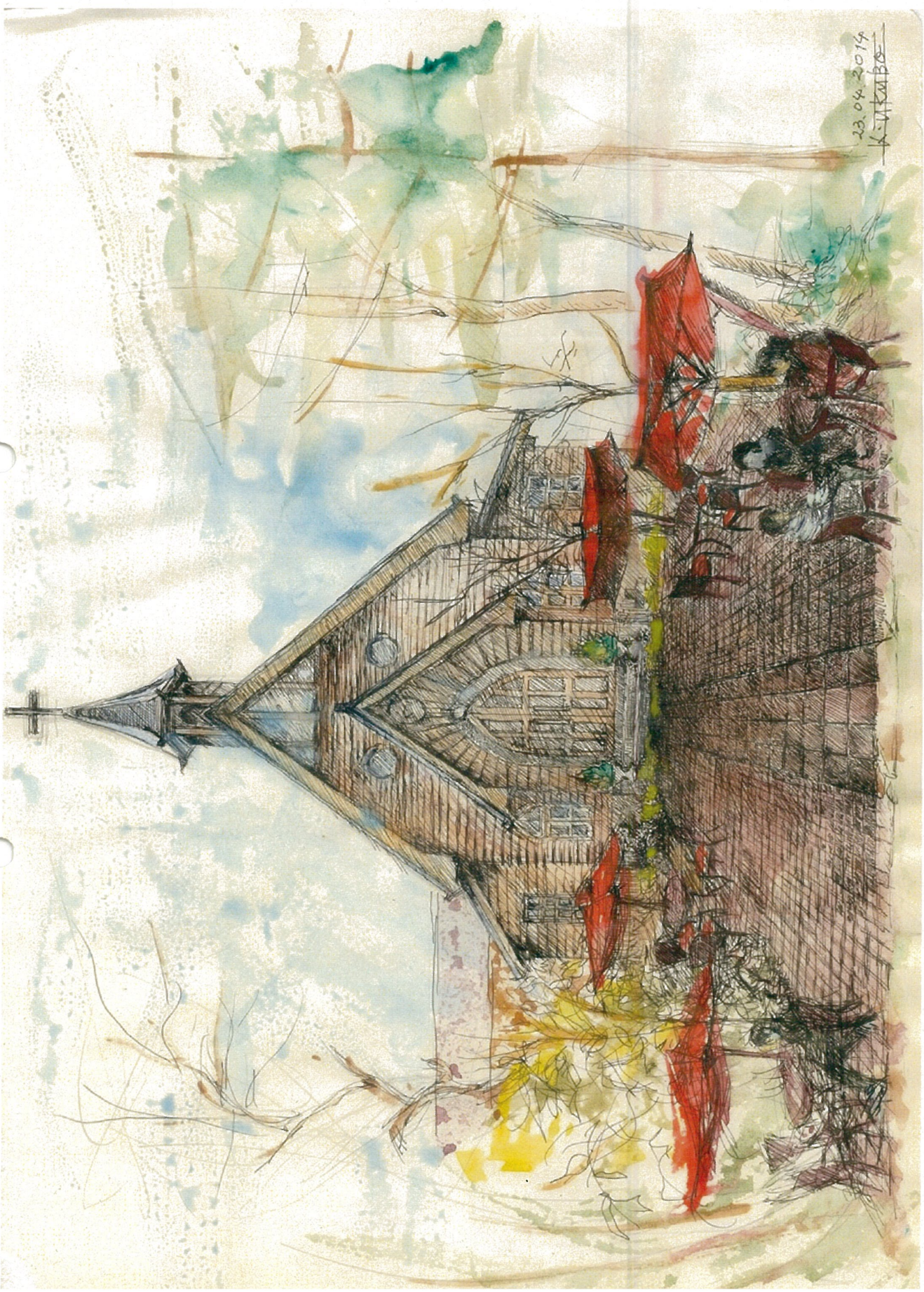
△

△  
山口 美緒

△  
井田 玲子

△  
南 沢 忠

23.04.2019  
K. V. KUBO



いいやま広小路界限 再生プロジェクト

田窪恭治 コラボレーション

自分たちの手で  
「まちの再生」を!

## いいやま広小路「再生」 トライ・イベント&シンポジウム

まゆみ人形館～仲町・広小路界限の活性化を目的として集まった「広小路会議」メンバー主催により、いいやま復活教会を中心とした地域再生を試作するイベント&シンポジウムを開催します。地域再生のデザイン・プロデュースをノルマンディー「林檎の礼拝堂」や「こんびらさん」の再生プロジェクトで知られる美術家・田窪恭治氏に依頼。当日は地域再生のための「試し」のイベントに加え、田窪氏・足立飯山市長らと交えた「まちの再生」をテーマにしたシンポジウムを行います。自分たちの手で「まちの再生」を試みる取り組みのスタートとなります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成26年11月8日(土) 13:00～

場所 飯山復活教会 飯山市大字飯山2278

参加費 無料

主催 いいやま広小路会議

代表 田中 隆太  
(田中屋酒店店 代表)



飯山復活教会 再生  
イメージデザイン

画: 田窪 恭治



田窪 恭治 Kyoji Takubo

美術家・多摩美術大学 客員教授・  
聖心女子大学 講師

ノルマンディー「サン・ヴィゴール・ド・  
ミュー礼拝堂の再生プロジェクト」、  
「琴平山再生計画」で知られる。

1999年村野藤吾賞・2000年フランス芸  
術文化勲章(オフィシエ)受賞

著書に『林檎の礼拝堂』、『表現の現  
場?マチス、北斎、そしてタケボ』等。

### ■ 広小路「再生」トライ・イベント 13:00～14:00

- ① 復活教会・庭園整備・メイプル植樹をしよう!
- ② 教会庭園「モミの木」をX'masイルミネーションで飾ろう!
- ③ 仲町通り街灯をペインティングできれいにしよう!



「再生」トライ・イベント  
ボランティア参加者募集!

\* 下記申込にて受付中

### ■ チャペルガーデン・カフェ 14:00～14:30

- ・カフェELK コーヒー・紅茶 等 【無料サービス】
- ・パティスリーヒラノ・オリジナル・メイプルケーキ 【無料サービス】

### ■ 「まちの再生」シンポジウム 14:30～16:30

～ 復活教会広場の輝きと広小路界限再生への道 ～

パネリスト 田窪 恭治(美術家) 足立 正則(飯山市長)  
コーディネーター 田中 隆太(広小路会議代表)

### ■ 教会ライティング・点灯式 16:30～

・モミの木イルミネーション 飯山復活教会 ライトアップ

### ■ 水尾BAR in チャペルガーデン 16:30～18:00

- ・地酒 水尾 【無料サービス】
- ・川口鶏肉店 特製オードブル 【無料サービス】



パティスリーヒラノ  
オリジナル・メイプルケーキ

途中からの  
参加も  
大歓迎!

申込 FAX:0269-62-6221 (飯山市役所・商工観光課・担当 小林 行)

広小路「再生」 トライ・イベント ボランティア 参加申込書 (申込〆切 11月5日まで)

氏名	住所	電話番号	備考

お問合せ いいやま広小路会議 事務局 電話0269-62-3111 (飯山市役所・商工観光課・担当 小林)

# いいやま いいまち広小路プロジェクト

芸術とまちの再生、にぎわい創出2ndイベント

祝、新幹線飯山駅

## 田窪恭治 表現の現場 -The Artist is Here-

田窪恭治 公開制作

飯山城址の南側に位置し、古くから「広小路」と呼ばれる地区はまゆみ人形館～仲町・肴町・福寿町にまたがる地区です。新幹線飯山駅の開業を機に、まちなか観光の名所となるよう盛り上げたいと思います。

飯山復活教会を中心に、広小路界隈の活性化を目的として集まった「広小路会議」では美術家・田窪恭治氏のプロデュースによる町の再生と芸術の融合をテーマに、飯山復活教会の再生トライイベントなどの活動を自分たちの手作りで行ってきました。

今回は2nd実践イベントとして広小路会議メンバー、パティスリーヒラノのカフェの壁に「林檎の絵」を公開制作するイベントを行います。多くの皆様のご来場を、お待ちしております。



### 一林檎の壁画公開制作一

田窪恭治氏参考作品

田窪 恭治 Kyoji Takubo

制作日程 平成27年3月1日(日)～3月13日(金)  
(4日、11日の水曜日はお休みです)

制作時間 12時～15時

場所 パティスリーヒラノカフェ

どなたさまも見学自由です、田窪先生とお話したり、

書籍へのサインなどにも応じてもらえます

期間中ヒラノカフェも営業いたしております。

ケーキ飲み物等お召上がりになりながら制作過程をご覧いただけます

美術家・多摩美術大学客員教授・聖心女子大学講師  
ノルマンディー「サンヴィゴール・ド・ミュール礼拝堂」の再生プロジェクト、「琴平山再生計画」で知られる。1999年村野藤吾賞、2000年フランス芸術文化勲章<オフィシエ>受賞。著書に『林檎の礼拝堂』、『表現の現場・マチス、北斎、そしてタクボ』等。

### 一林檎の壁画完成イベント一

(飯山駅開業記念広小路イベント)

日時 平成27年3月15日(日) 14時～18時

14:00 オープニングトーク

田窪恭治(美術家) 田中隆太(広小路会議代表)

14:15 「水尾」鏡開き により 縁起の良い樽酒を開きます

14:30 カフェ・BARオープン

開催場所 ヒラノカフェ、及び周辺駐車場

・広小路まちなかオープンカフェ{先着300名様無料サービス}

・コーヒー・紅茶

・完成記念のケーキ「ヴェルジョワーズ・ポム」

(北信濃のリンゴとベルギー産のてんさい糖「ヴェルジョワーズ・ブリュン」を使ったりんごのタルト)

・水尾BAR in 広小路{先着300名様無料サービス}

・地酒 水尾

・川口鶏肉店特製オードブル

・復活教会写真展(関スタジオ提供)

イベント会場において飯山復活教会の現在と、82年におよぶ歴史のある写真を展示します。



お問い合わせ：いいやま広小路会議事務局

電話0269-62-3111 (飯山市商工観光課・担当小林)



# 飯山の「広小路」を元気に 有志、きょうイベント



催し会場となる飯山復活教会

飯山市の飯山城址南側一帯の「広小路界隈」活性化を目指す住民有志でつくる「いいやま広小路会議」が8日、飯山復活教会を会場に地域振興を考える催しを初めて開く。住民が愛着や誇りを持てる地域づくりが目的。7日はメンバー十余人が集まり、教会の庭にある高さ約8メートルのモミの木に電飾取り付けなどの作業をした。

広小路会議は昨春秋、商店主ら15人ほどで発足。「歴史とロマンの町並み」実現を目指すし、多摩美術大(東京)客員教授で美術家の田窪恭治さんから助言を受け、景観整備などを考えてきた。

8日の催しは午後1時から。教会庭にカエデの苗木を

植え、ボランティアと共に近くの街灯の塗り替え作業をする。午後2時半からは教会内で車座になって討論会を開く。田窪さんと足立正則市長がパネリストで、参加者にも自由に発言してもらう。

午後4時半から、モミの木のイルミネーションと教会のライトアップの点灯式がある。催しの途中では、庭でコーヒード、ケーキ、日本酒などを振る舞う。イルミネーションはクリスマスごろまで続ける予定だ。



投票箱に投票用紙を入れる下氷鉤小6年生

長野市下氷鉤小6年生  
選挙の仕組みを  
模擬投票で学ぶ

長野市稲里町の下氷鉤小学校6年級組28人は7日、社会科学の学習の一環として、架空の市長選を題材に、同校で模擬投票をした。選挙の仕組みを市選挙管理委員会事務局職

員から聞いた後、本物の投票箱や記載台などを使い、本番さながらに投票票の流れを体験。選挙の大切さを実感した。子どもたちに選挙への意識を高めてもらおうと市選管が初めて企画。架空の下氷鉤市長選に3人が立候補したと設定した。担任の西沢繁樹教諭(41)が考えた選挙公報には、

「広小路会議代表の酒造店主田中隆太さん(49)は「一過性のイベントにせず、往来が増える地域に再生できるように地域の意識を高めていきたい」と話していた。

下氷鉤小に関する公約を載せた。子どもたちは順番に記載台で投票用紙に記入し、投票箱に投入。計数機ですぐに票数が分かるかと驚いていた。1枚候補者名を間違えた投票用紙があり、職員が「正しく書く」と思って間違えたと客観的に分かるものは有効にする」と教えていた。

投票後、柳沢魁君(12)は投票用紙は字が書きやすかった」と話し、投票率の低下でどんな問題が起きるかにも興味を持ったという。青木悠平君(12)は「選挙は自分たちの代表を選ぶ大事なことで、有権者なのに投票しないのはもったいない」と感想を発表した。市選管は本年度、他の小中学校数校でも模擬投票を行う予定だ。

坂城出身の画家小松さん(29)が6日、上田市学校(中央北)で特別授賞した。上田市交流・文化「サントミューゼ」内の美術館が、12月6日から美術館で始まる小松さんのに合わせ企画。「市内の学校を訪れたい」というさんの希望もあり、同小2組の児童27人に教えた



色づけ作業をする児童たちを前に授賞の感想を語る小松さん(右)

# 田窪 恭治

美術家

生年月日

1949年1月17日

アトリエ

〒275-0012

千葉県習志野市本大久保3-8-3

河合ビルB1

アトリエ電話番号

047-476-4545

takubokyoji@yahoo.co.jp




絶対現場1987 (1987)



オペラ「ゴーレム」(1989)

- 1949年 愛媛県今治市で生まれる
- 1968年 多摩美術大学絵画科入学
- 1971年 同年より1973年まで、個展シリーズ「イメージ裁判」を都内の画廊で5回開催
- 1972年 多摩美術大学卒業
- 1975年 第9回パリ・ビエンナーレに参加
- 1984年 個展（フジテレビギャラリー、同画廊では86年、90年、96年にも個展を開催）  
第41回ヴェネチア・ビエンナーレに日本代表として参加
- 1987年 《絶対現場1987》 建築家・鈴木了二、写真家・安齊重男との協働
- 1989年 ロンドンのアルメイダ劇場にて上演のオペラ「ゴーレム」の舞台美術を担当  
フランス、ノルマンディー地方ファレーズに一家で移住し、サン・ヴィゴール・ド・ミュー礼拝堂の再生プロジェクトに着手
- 1999年 礼拝堂の完成で「村野藤吾賞」を受賞、帰国
- 2000年 礼拝堂再生プロジェクトに対し、フランス共和国政府より、芸術文化勲章（オフィシエ）を受賞  
香川県琴平町に住み、2011年まで金刀比羅宮文化顧問として同宮の遷座祭を機に、「琴平山再生計画」に着手。旧社務所を高橋由一の作品の常設展示室とするなど、金刀比羅宮蔵の美術作品の調査や修復、公開を進めると共に、2005年から白書院の襖絵の制作に着手。2007年には新茶所のため、磁器による壁画《神椿》を制作すると共に建築デザインを手掛ける。
- 2001年 愛媛県立美術館での個展開催
- 2008年 パリ国立ギメ東洋美術館で金刀比羅宮の名品展「こんびらさん 海の聖域展」の総合プロデュース、自身の作品も展示する。
- 2009年 「琴平山再生計画」とパリ国立東洋美術館での展覧会により、「かがわ21世紀大賞」受賞
- 2011年 東京都現代美術館で個展 「田窪恭治展 風景芸

An aerial photograph of a church with a prominent steeple. The roof of the church is covered in a dense, colorful mosaic of small tiles or stones in various shades of blue, green, yellow, and brown. The church is surrounded by lush green trees and a paved area with a few parked cars.

術」開催

大原美術館で個展「倉敷の風景に」開催

2012年 愛媛県美術館で「田窪恭治」新蔵作品展開催

ルーチェベルデ オープンスペースで田窪恭治展開催

陸前高田市の松月寺で六曲一双の屏風製作

2013年 駐日フランス大使公邸で六曲一隻の屏風製作

平成25年度紺綬褒賞受勲

松山空港ロビーにステンドグラス製作

現在、多摩美術大学芸術学科客員教授

聖心女子大文学部教育学科講師

著書 『林檎の礼拝堂』（集英社）

『表現の現場』（講談社現代新書）

パブリックコレクション

愛知県美術館

いわき私立美術館

愛媛県立美術館

美ヶ原美術館

宇都宮美術館

大阪国立国際美術館

大原美術館

高知県立牧野植物園

島根県立美術館

世田谷美術館

高松市美術館

東京都現代美術館

富山県立近代美術館

広島市現代美術館

北海道立旭川美術館

宮城県美術館



サン・ヴィゴール・ド・ミュール礼拝堂プロジェクト(1989-1999)



琴平山再生計画(2000-2011) カフェ&レストラン「神椿」(2007)



田窪恭治展 風景芸術  
(東京都現代美術館 2011)



田窪恭治一倉敷の風景にー  
(大原美術館 2011)



在日フランス大使館公邸 「ノルマンディの林檎」  
(2013)



松山空港ロビー ステンドグラス  
「蜜柑 ミカン みかん」(2013)

## プロフィール

塚本章二 一級建築士事務所 Tsukamoto Design Office 代表

1964年滋賀県生まれ

法政大学工学部建築学科卒業、同大学大学院修了

1988年第14回日新工業建築設計競技「水の手の家」1等

1991年第2回タキロン・デザインコンペティション「都市の発光体」3等

1992年大江宏建築事務所入所

1992年横浜能楽堂新築工事設計

1994年名古屋能楽堂新築工事設計

1994年総社神社社務所及び社宅新築工事設計・監理

1996年なまはげ館建設事業工事設計・監理

2000年明長寺客殿・庫裏新築工事設計・監理

2001年田窪恭治氏に師事

2001年～04年金刀比羅宮社殿整備及び文化施設のリニューアル工事設計・監理

2004年金刀比羅宮「遷座祭」に関わる諸施設の設計・監理

2007年「金刀比羅宮 書院の美」設計・監理(主催：東京芸術大学、朝日新聞)

2008年「こんぴらさん 海の聖域展」設計・監理(主催：フランス国立ギメ美術館、朝日新聞)

2011年田窪恭治展「風景芸術」設計・監理(主催：東京現代美術館)

2013年～14年「いこいの場」づくりワークショップ企画・設計・監理(主催：聖心女子大学)